

第9回 SF豊泉家R&D 〈研究・開発〉発表会

第9回SF豊泉家R&D〈研究・開発〉発表会を8月8日・9日の両日にかけてケアハウス桃山台6Fコミュニティホールにて開催しました。

2013年度第9回SF豊泉家R&D〈研究・開発〉発表会は2日間にわたり執り行われましたが、SF豊泉家で全フェローがご入居者ご利用者への「顧客感動サービス」の提供を目指し、日夜精力的に取り組み、日夜精力的に取り組んでおります。

今回のエントリーは下記表の18チームです。

第一日目の発表が始まり各チーム、サービスの実践に至っているものから、今後のサービス向上の為にこれまでを振り返り、新たなものを導き出すチームまで多岐にわたる内容で、途中エキシビジョンとして末広コミュニティ田中良尚氏より自身の経験談を交えながら障がい者支援における今後の展望を語っていただきました。各チーム連日連夜の議論を重ね、アンケート調査などを行い、発表前日まで試行錯誤を繰り返して完成にこぎつけた内容でフェローの使

命感に燃え全身全霊かけて取り組んでこられた姿勢を肌で感じることが出来ました。

第二日目終了後、審査委員会が開かれ11名の審査委員により厳正なる審査が行われました。課題・目標設定力「アイデア力」「表現力」「実現力」「感動力」などの評価基準を設け、さらに審査委員独自の「注目点」も加えた総合的な審査になりました。

その結果、

「R&D大賞」
 デイサービスセンター
 豊泉家北緑丘(KCC)

「R&D最優秀賞」
 ホームヘルプセンター
 豊泉家桃山台(MCH)

「R&D優秀賞」
 豊泉家コミュニティクラブ (HCC)

の3チームが見事各賞を受賞しました。いずれのチームも甲乙つけがたい発表内容で最後まで審査員の頭を悩ませました。

受賞されたチームの皆様おめでとうございます。また今回残念ながら受賞を逃して



田中良尚氏エキシビジョン

第1日目	テーマ
①日本福祉給食㈱	「健康餃子開発への取り組み」
②レインボーホープ	「障がい者支援センターの創造～社会とのつながり・社会とのかけはし～」
③SCD	「住之江2期PJに向けたデイサービスの構想」
④KCC	「検証900名デイサービス～850日の歩み～」
⑤ブルーWAVE	「住之江2期PJに向けてのケアハウスのあり方」
⑥HCC	「地域貢献事業の充実～3事業所が1つとなって～」
⑦ヘルスケア治療院	「新自費メニュー ハンドケアマッサージの実際 身体的・精神的有効性～豊泉家での汎用について～」
⑧CH桃山台チーム	「高齢者の孤立・孤独を防ぐ」
⑨ほうせんか病院	「老年医療特化病院の創設～医療・介護のシームレス化へ向けて～」
⑩MCH	「豊泉家介護モデル事業のアセスメントとプラン」

改めまして、豊泉家に携わる皆様方におかれましては、今後、豊泉家のさらなる飛躍に向けご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記者…辻 由生



記者…事務局 石倉 慎也

お問い合わせは左記まで
 一般社団法人
 日本棒サッカー協会
 TEL 06-6842-3995

一般社団法人日本棒サッカー協会設立

ゲートボールやバタンクなど元気な高齢者のスポーツはありますが、要支援・要介護高齢者でもでき、100歳を越えても続けられる生涯スポーツ「棒サッカー」を広めていくことが、2013年5月28日に「棒サッカー大会」を開催の処、勢「8チーム208名」の皆様に参加いただき、大盛況のうちにプレ大会を終える事が出来ました。

又多くのマスコミからも注目が集まり、日経新聞・大阪日日新聞には特集記事として大きく報道されました。

そこで、プレ大会を機に2013年8月13日に「一般社団法人日本棒サッカー協会」を正式に設立し、来る11月19日(火)庄内体育館第一競技場にて記念すべき第1回本大会を開催する事と致しました。

今後の普及活動により大阪大会から近畿大会へ、そして全国大会へと拡大・発展させる為にも皆様からのご支援ご協賛をお願い致し、ご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

記者…辻 由生

Housenka Community Club since 2001.1.1

HCC TIMES

Vol.123
 2013 9
<http://www.sg-h.com>

豊泉家
 H.C.C.
 NPO法人 SG博友会
 〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号
 TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3554
 編集元 H.C.C.事務局 佐々木義治

夏季インターンシップ 開催いたしました!

2014年度新卒採用活動の環として、2013年8月12日(16日)、19日(23日)の2クールに分かれて、北緑丘・桃山台各コミュニティにて、内定者7名を対象とした夏季インターンシップを開催しました。

今年度より新しい取り組みとして、各クールの初日に、内定者の方々と管理本部のフェローで昼食会を開催致しました。



以前のインターンシップでは、お互いの紹介もなくそのまま現場で説明を行っており、非常に緊張した表情のまま現場実習に入ることが多かったのですが、今後同期となる内定者同士で雑談を交える中で、緊張がとほほぐれたように感じられました。

インターンシップでは初めて介護の現場を体験する学生が多く、声のかけ方やコミュニケーションの取り方など戸惑う点も多くあったと思います。しかし最終日の総括では5日間の学びや発見を発表され、大きく成長した姿を見ることができました。

インターンシップは短い期間ではありますが、学生にとって貴重な学びの場となり、豊泉家をより知ってもらおう機会です。来年4月の入職に向けてモチベーションを上げて頂くと共に、残り少ない学生生活の中で入職に向けた準備を始め、残り少ない学生生活の中で入職に向けた準備を始めて行くきっかけとなることを期待しています。また、現場フェローの皆さまにはお忙しい中、インターンシップを受け入れていただき感謝しております。新卒フェローを一人でも多く現場へと導くことが私達の使命だと考えていますので、今後ともご理解ご協力宜しくお願いします。

記者…岡 美里

イベント情報

- 10月5日(土) 10:30~15:30(予定) 北緑丘コミュニティ秋祭り
- 10月14日(月) 11:30~15:30(予定) 住之江コミュニティ秋祭り
- 10月26日(土) 10:30~15:30(予定) 桃山台コミュニティ秋祭り

午後からは公益財団法人モロロジ研究所 社会教育講師の藤林先生より「動機と目的と方法と誠を悉くす」という格言を用いて、人間が社会生活を行っていくにあたり最も大切なものは「道徳」であるというように教えていただきました。

この度は、社会貢献リーダーとしてのあり方について参加者同大変多くのことを学び、改めて自身の思いを確認することのできる研修となりました。

記者…辻 由生



その後、NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015理事長の細川先生よりスペシャリストオリビックスの今までの歩みと人生の大切なものは命の尊さと、人間としての尊厳であるということについて話していただきました。また、麗澤大学経済学部特任教授キャリアセンター長 真殿先生より政治・経済についての大変貴重なお話をいただきました。最後にSF豊泉家グループ代表 田中成和会長より閉会挨拶を行っていただき、閉会となりました。

第38回 SF豊泉家 クォーターカンファレンス

2013年8月26日(月)に第38回SF豊泉家クォーターカンファレンスを開催いたしました。まず最初に社会福祉法人福祥福祉会 安達専務理事より「3ドメインで手を取り協力し合って豊泉家を創造していこう」との力強い開講挨拶を頂きました。

午前の講話では、東邦ビジネスコンサルタント株式会社代表取締役社長の粕井先生による「輝きリーダーになろう!」というテーマで、今後豊泉家をけん引していくことのできるリーダーとしての役割と使命について教えていただきました。またグループディスカッションを用いて、他のフェローと話し合い、発表する時間を設けていただき、個人の考えを共有化することの重要性について学ぶことが出来ました。

この度は、社会貢献リーダーとしてのあり方について参加者同大変多くのことを学び、改めて自身の思いを確認することのできる研修となりました。

記者…辻 由生

フェロークラス掲示板

六甲山荘ファミリー交流会にて
 記者: 桃山台託児所 黒木 美里
 8月24日六甲山荘でのファミリー交流会に桃山台託児所も参加し出し物を披露させて頂きました。出し物の内容は下記の通りです。

- 1.「キャンパだホイ!」を歌ってみんなで踊る。
- 2.「アンパンマンの鬼退治」(託児所創作)のペープサート
- 3.「ひげいさん」手遊び歌
- 4.「はらべこあおむし」のペープサート

キャンパだホイはみんなで楽しく歌ってくれましたが、踊るのは恥ずかしかったようで、誘ってもキャッキャと逃げました。特にドラえもんを手遊び歌にしてるところやアンパンマンが鬼に「アンパンチ」するところは楽しかったようで大きなお目目がくりくりしていました。また、はらべこあおむしの最後にちようよが飛び出して来たので驚いていました。30分程度でしたが、みんなでわいわい楽しい一時を過ごす事が出来ました。

2013年8月19日 第19回NEXTDOOR未来を語る会

2013年8月24日 ファミリー交流会

2013年8月14日 第127回NEXTDOOR未来を創ろう会

2013年8月16日 フットサルコミュニティ対抗戦



記者…辻 由生

この度、障がい者支援センター末広所属 田中良尚氏が名古屋で行われたドリームプラン・プレゼンテーションにて「障がい者目線で創る夢の施設」というテーマで親に対する感謝の気持ちと、障がい者の未来を発表し、感動大賞を見事受賞されました。

本大会は社会貢献度が高く全ての人々に感動と共感を与えることのできる夢を実現に導くためのプレゼンテーションを行う大会です。

受賞の感想をお伺いすると「周囲の人に支えられたおかげで賞を取らせていただいた。今後も、自分を信じ恐れることなく障がい者や高齢者が生き生きと過ごせる社会を創造していきたい」と語られました。

本大会におめでとうございました。

記者…辻 由生

ドリームプラン・ プレゼンテーション 感動大賞受賞!